



青森県感染症発生情報 (2018年第19週)

I 第19週の発生動向 (2018/5/7~2018/5/13)

1. 警報・注意報は発令されていません。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の平均を上回り、特に五所川原保健所管内では定点当たり報告数が前週の11.00から16.00に増加し、警報レベルの基準値(20)に近づいています。
3. 手足口病については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に弘前保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。
4. 流行性耳下腺炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内と上十三保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態が続いています。
5. 流行性角結膜炎については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に東地方+青森市保健所管内と三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が他保健所管内より多い状態です。

II 第19週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの 増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	19	1.46	24	1.60	6	0.40	7	1.00	25	2.78	2	0.33	83	1.28	-74
小児科	RSウイルス感染症	3	0.38			1	0.10	2	0.40					6	0.14	1
	咽頭結膜熱	1	0.13	3	0.33	2	0.20	4	0.80			1	0.25	11	0.26	1
	A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	6	0.75	3	0.33	14	1.40	11	2.20	22	3.67	10	2.50	66	1.57	19
	感染性胃腸炎	57	7.13	44	4.89	57	5.70	80	16.00	18	3.00	19	4.75	275	6.55	75
	水痘	1	0.13	4	0.44	3	0.30	6	1.20	3	0.50			17	0.40	8
	手足口病			14	1.56	4	0.40							18	0.43	16
	伝染性紅斑			1	0.11									1	0.02	1
	突発性発しん	2	0.25	4	0.44	8	0.80	2	0.40			5	1.25	21	0.50	14
	ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎	2	0.25	4	0.44	14	1.40			5	0.83			25	0.60	7	
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	4	2.00			3	1.50			1	0.50			8	0.73	6
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)							1	1.00	1	1.00	1	1.00	3	0.50	-2
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎					1	1.00							1	0.17	1
	マイコプラズマ肺炎							1	1.00			3	3.00	4	0.67	3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、 は注意報。「空欄」: 患者報告無し。

感染症の窓

流行性耳下腺炎 (五類定点把握対象疾患)

流行性耳下腺炎は、ムンプスウイルスによる感染症で、両側又は片側の耳下腺(耳の下にある唾液腺)が腫れることから、「おたふくかぜ」とも呼ばれています。

ムンプスウイルスは接触感染や飛沫感染で伝播し、強い感染力を持ちます。潜伏期間は2~3週間で、耳下腺の腫れは痛みを伴い、境界不鮮明な柔らかい腫れが耳を中心として起こり、数日の発熱を伴います。合併症として、無菌性髄膜炎があり、成人男性には睾丸炎、成人女子には卵巣炎がみられることがあります。また、重要な合併症の一つにムンプス難聴があり、永続的な障害となるため注意が必要です。特に、片側だけの難聴は年少児には自覚しにくく、周囲の大人も気づきにくいいため発見が遅れがちです。

流行性耳下腺炎及びその合併症の治療は基本的に対症療法で、効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。2017年に青森県内の小児科定点医療機関から報告された患者(図)は5歳をピークとした10歳未満がほとんどです。集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが最も有効な感染予防です。

なお、流行性耳下腺炎の予防接種は任意接種ですので、費用は原則自己負担となりますが、助成制度を設けている市町村もありますので、お住まいの市町村予防接種担当課にお問い合わせください。

○詳しくはこちらをご覧ください

流行性耳下腺炎(ムンプス、おたふくかぜ)(国立感染症研究所HP)

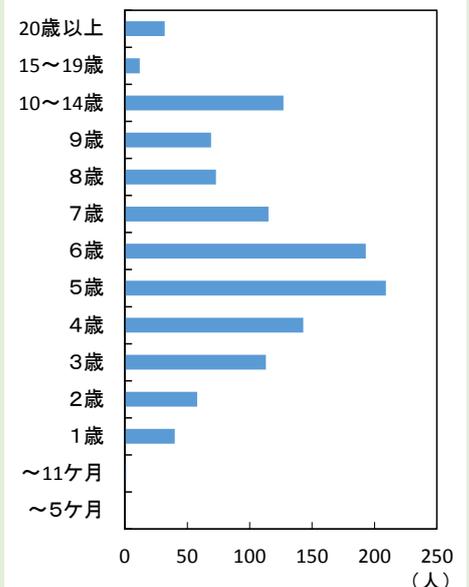


図: 青森県における流行性耳下腺炎年齢別患者報告数(2017年)

おたふくかぜ 国立感染症研究所 検索



Ⅲ 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、八戸市1人、弘前3人（2018年計：65人）
- ・腸管出血性大腸菌感染症（三類全数把握対象疾患）：八戸市1人（2018年計：3人）
- ・百日咳（五類全数把握対象疾患）：青森市1人（2018年計：15人）

Ⅳ 病原体検出情報

報告はありませんでした。

Ⅴ 県内インフルエンザ情報（2018年第12週～2018年第19週）

- ・第19週の患者報告数は83人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは83人【A型：66人、B型：17人】でした。

保健所管内別報告数（人）

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	172	114	79	77	78	33	18	19
弘前	135	111	94	126	90	60	47	24
三戸地方+八戸市	163	100	43	30	29	17	14	6
五所川原	80	87	91	130	58	36	22	7
上十三	162	110	54	75	114	73	44	25
むつ	58	31	23	20	24	22	12	2
合計	770	553	384	458	393	241	157	83

A型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	93	72	46	51	65	26	7	15
弘前	63	69	65	102	81	51	43	21
三戸地方+八戸市	42	37	15	13	12	11	6	5
五所川原	27	52	73	103	42	23	19	6
上十三	94	48	22	31	43	27	26	17
むつ	29	14	21	14	20	18	6	2
合計	348	292	242	314	263	156	107	66

B型（迅速診断キットによる型別）(人)

保健所名	12	13	14	15	16	17	18	19
東地方+青森市	78	41	33	25	13	7	11	4
弘前	72	42	29	24	9	9	4	3
三戸地方+八戸市	116	61	28	16	16	6	8	1
五所川原	53	35	18	27	16	13	3	1
上十三	67	61	29	43	68	45	18	8
むつ	27	16	2	5	1	4	5	
合計	413	256	139	140	123	84	49	17

年齢区分別(人)

年齢区分	12	13	14	15	16	17	18	19
～5ヶ月	1	3	2	0	1	1	1	0
～11ヶ月	12	4	9	4	10	2	1	1
1歳	28	19	17	26	25	9	4	3
2歳	25	18	10	21	14	12	7	7
3歳	39	15	16	41	21	5	7	1
4歳	35	21	20	31	21	9	11	0
5歳	34	31	26	35	18	6	2	2
6歳	32	28	16	14	18	13	4	2
7歳	40	27	11	20	16	9	4	5
8歳	26	19	0	9	13	7	4	0
9歳	39	18	10	6	7	5	3	5
10～14歳	115	53	22	36	35	41	20	5
15～19歳	24	16	13	14	23	11	10	6
20～29歳	31	21	26	19	20	7	5	6
30～39歳	54	33	29	34	23	18	17	11
40～49歳	50	48	34	26	22	24	15	6
50～59歳	40	44	27	28	22	18	17	5
60～69歳	66	61	22	30	34	17	11	5
70～79歳	41	32	31	21	13	8	6	4
80歳以上	38	42	43	43	37	19	8	9

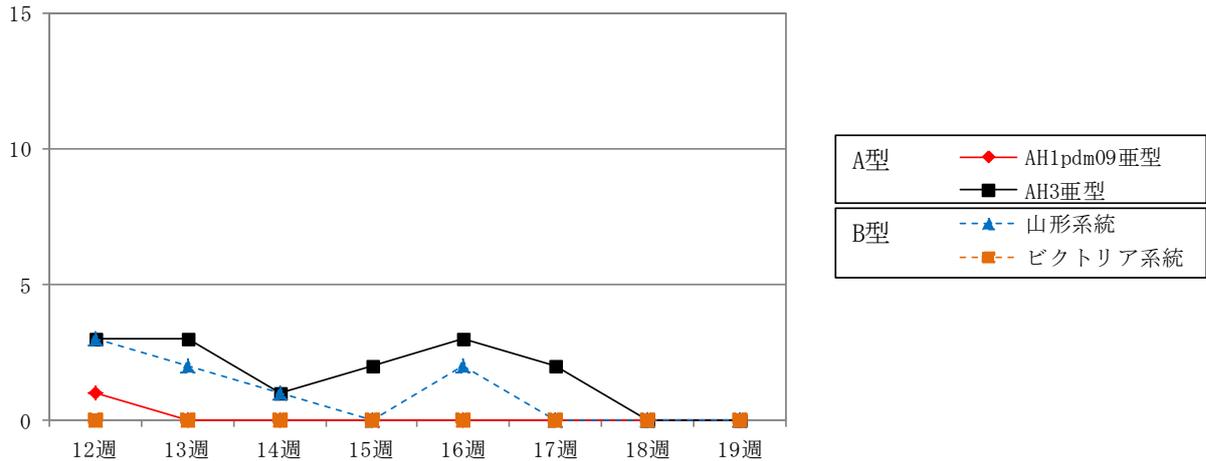
VI 県内インフルエンザウイルス検出状況（県が指定した医療機関（指定提出機関）の提出検体の検出数）

インフルエンザウイルス		2018								直近5週間 合計	2017/2018 シーズン 合計
		12週	13週	14週	15週	16週	17週	18週	19週		
提出検体数		8	5	2	3	6	2	2 (2)	0	13 (2)	107 (2)
検出 状況	A型	AH1pdm09亜型		1						0	14
		AH3亜型		3	3	1	2	3	2	7	42
	B型	山形系統		3	2	1		2		2	35
		ビクトリア系統								0	0
合計		7	5	2	2	5	2	0	0	9	91

注1) 2017/2018シーズンは2017年第36週（9/4～9/10）～2018年第35週（8/27～9/2）

注2) 提出検体数に（ ）がある場合は、提出された検体のうち、現在検査中の検体数

件数 インフルエンザウイルス検出状況



VII 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況（2018年第16週～2018年第19週）

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H30.4.16 ~ H30.4.22			侵襲性肺炎球菌感染症1人 百日咳1人			
17	H30.4.23 ~ H30.4.29			梅毒1人	腸管出血性大腸菌感染症1人		
18	H30.4.30 ~ H30.5.6						
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	百日咳1人		腸管出血性大腸菌感染症1人			

VIII 結核(二類全数把握対象疾患)（2018年第16週～2018年第19週）

(人)

週	期間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
16	H30.4.16 ~ H30.4.22	1	1	1	1	1	1
17	H30.4.23 ~ H30.4.29		1		1		1
18	H30.4.30 ~ H30.5.6	1		1			
19	H30.5.7 ~ H30.5.13	1	3	1			

Ⅷ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2018年第1週～2018年第18週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	6863	2	59	272	15	8	130	235	3	3

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	Q熱	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	レジオネラ症
累積報告数	1	10	1	50	34	19	1	2	13	330

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性弛緩性麻痺	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症
累積報告数	264	55	530	3	291	6	65	285	393	28

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳	風しん
累積報告数	161	15	1403	127	2024	57	25	14	1249	14

分類	五類	五類
疾病名	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	125	6

青森県（2018年第1週～2018年第19週までの累計）

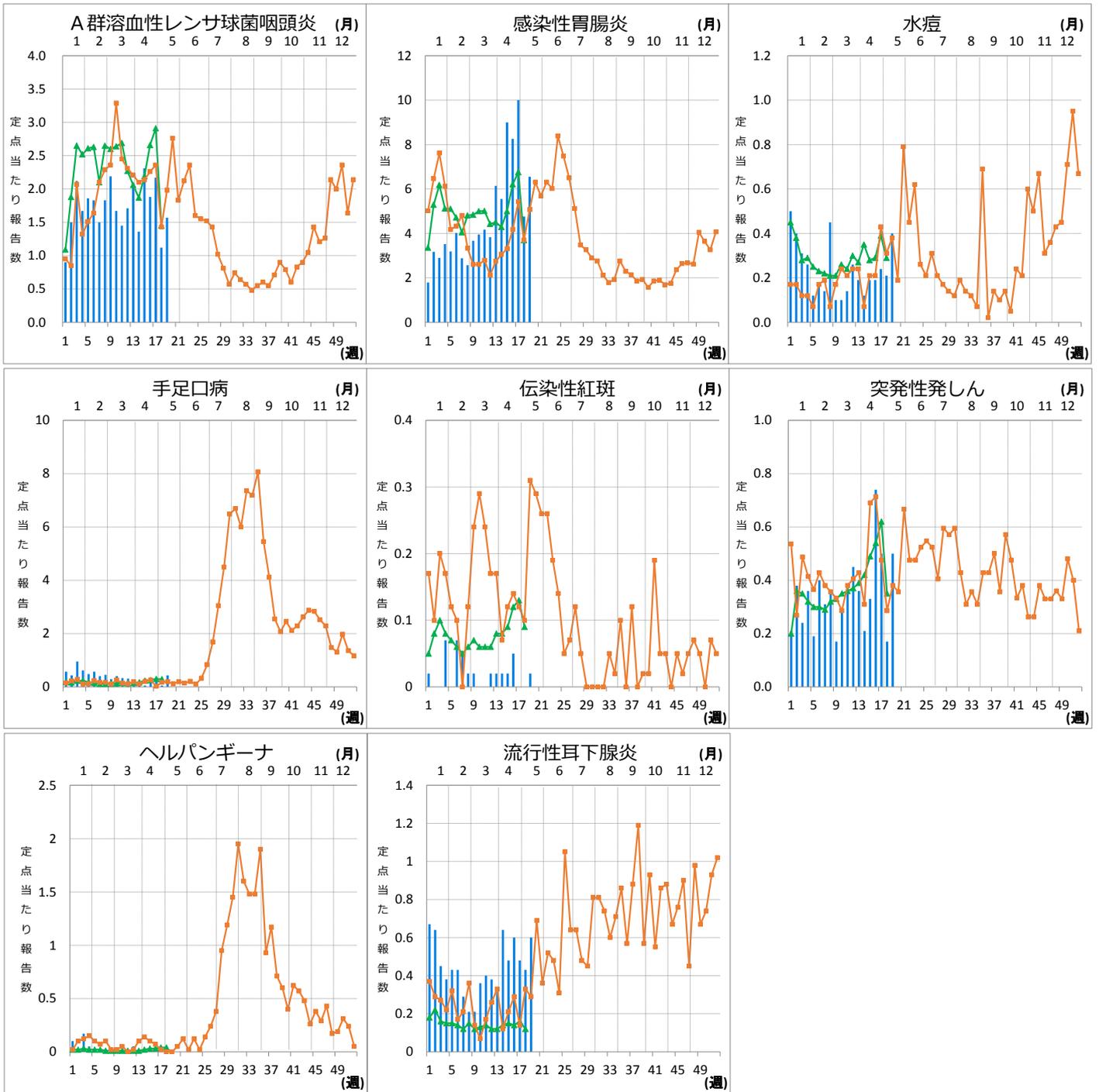
分類	二類	三類	三類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	A型肝炎	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	65	3	3	1	2	1	8	1	2	2

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	百日咳
累積報告数	2	6	1	15	2	15

Ⅹ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2018年第19週、ただし全国は前週）

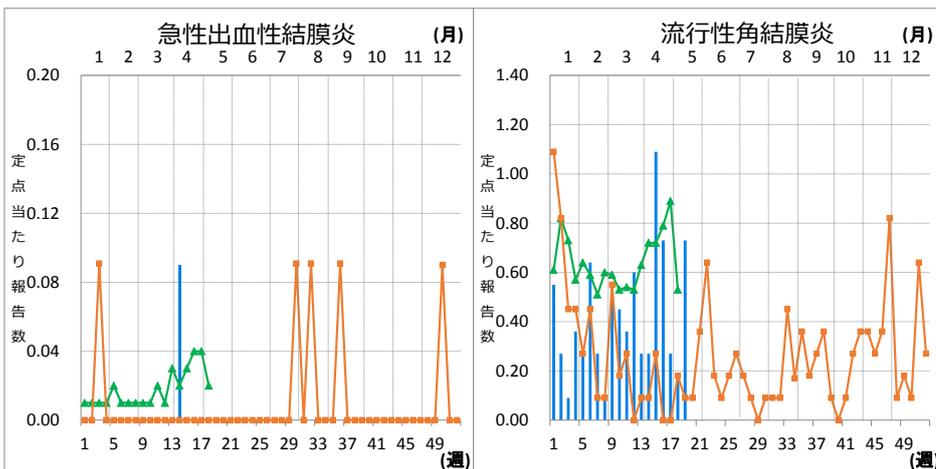
グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国





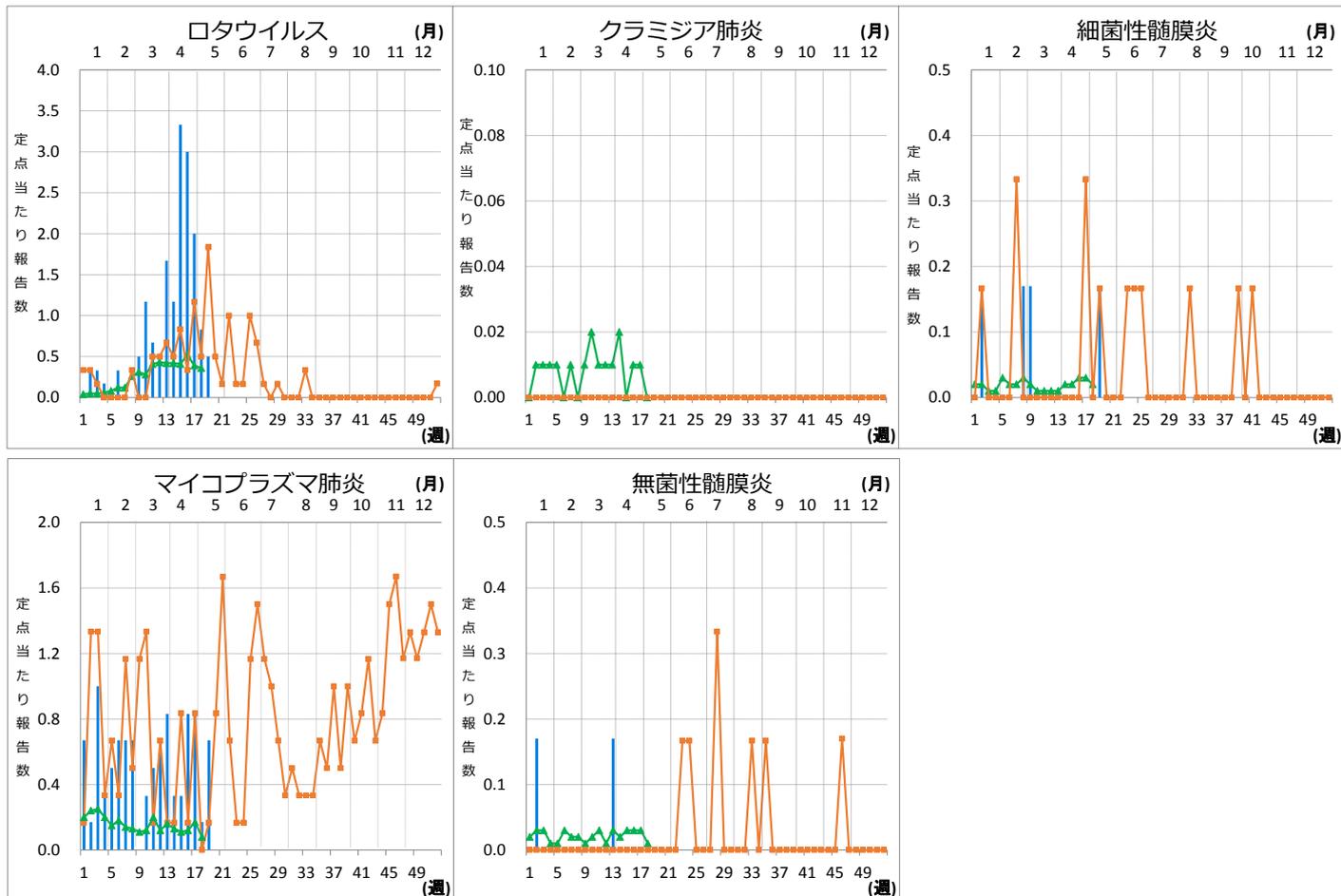
XI 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2018年第19週、ただし全国は前週)

グラフの説明 —■— は 2018年青森県、 ■——■ は 2017年青森県、 ▲——▲ は 2018年全国



XII 基幹定点把握対象疾患週別推移（2018年第19週、ただし全国は前週）

グラフの説明 は2018年青森県、 は2017年青森県、 は2018年全国



XIII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成30年第19週

報告はありませんでした。

平成30年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月		計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18週	19週	
介護・老人福祉関係施設	件数	2	0	2	0	0	0	4
	発症者数	34	0	36	0	0	0	70
児童・婦人関係施設等	件数	0	0	0	4	0	0	4
	発症者数	0	0	0	56	0	0	56
障害関係施設	件数	1	1	0	0	0	0	2
	発症者数	22	15	0	0	0	0	37
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	3	1	2	4	0	0	10
	発症者数	56	15	36	56	0	0	163